

## 平成 29 年度第 2 回富良野市中小企業振興促進審議会議事録

日 時) 平成 30 年 1 月 22 日 (月) 午後 3 時 00 分～午後 3 時 50 分

場 所) 富良野市役所大会議室

出席委員) 平沢幸雄、大玉英史、市村英規、奈良定雄、浅利俊亮、荒木美恵子、山崎時枝

事務局) 後藤部長、本田課長、澤田係長、笹田

### 1. 開会 (本田課長)

- ・ 本日は、審議委員 10 人のうち 7 人が出席をいただいている。富良野市中小企業振興条例施行規則第 16 条の規定に基づき、会議が成立していることを報告する。

### 2. 市長挨拶 (能登市長)

- ・ 中小企業振興促進審議会においては、補助要綱や補助内容の改正について随時提案し、ご承認いただき御礼を申し上げる。
- ・ これまで民間活力をいかした取り組みを支援してきており、28 件の新規創業、うち 9 件が市外から参入し、制度が有効に活用されてきている。
- ・ 昨年 12 月に諮問した件について、平成 24 年度から実施してきている補助制度の中には次の段階へ議論すべきものもあると考えておりますので、本日議論いただきたい。

### 3. 会長挨拶

- ・ 中小企業振興総合補助金制度は、これまで我々が使いやすい制度へ変わってきている。審議会で議論された制度が確実に推進されてきていると思う。
- ・ 本市の補助制度は、他のまちと比べても充実した制度内容になっている。
- ・ 先月の諮問内容について、本日それぞれ確認していただき、答申していきたい。

### 4. 議事

議案第 1 号 富良野市中小企業振興条例に基づく対策事業の制度改正について

(諮問事項、審議委員の意見と市としての考え方、改正案について、事務局より説明、以下、質疑)

(平沢会長)

- ・ 学卒者地元就職促進事業は、前回説明のものづくりだけではなく、人材育成にもつながるものであるがいかがか。

(市村委員)

- ・ 前々回の審議会で学校との連携ができないか提案させてもらった。学校では市内の就職口を全て把握しているわけではない。
- ・ 今回の事業趣旨にも通じるが、我々としては企業と学校がたくさん話ができる環

境や若い人たちが外へ出て行かない環境づくりを進める必要がある。

(大玉委員)

- ・ 前回の議論を踏まえて内容が改正されているので、この方向でよいと思う。

(荒木委員)

- ・ 先日テレビで放映されていたが、いまは中学校でなく小学校まで含めた人材育成の取り組みをしているところもある。
- ・ 企業側も高校卒業したら、すぐにうちの企業にきてもらうということではなく、長い目で見た人材育成を考えてもらいたい。

(奈良委員)

- ・ 人材育成という側面では市内の人材開発センターの事業と重複してくる部分もあるのかなと思う。
- ・ 補助率 2 分の 1、限度額 20 万円でどこまでの事業ができるか今後見ていく必要がある。

(平沢会長)

- ・ 人材開発センターもこれまでやってきたことだけでなく、新たな人材育成の取り組みが必要とされてきている。

(浅利委員)

- ・ 制度改正案を一通り見たが全体的には、先月の議論内容を踏まえたものであり異論はない。

(山崎委員)

- ・ 今は市内に若者が残る魅力的なものがないのではないかと。うちに下宿している看護学校の学生も協会病院で 3 年間勤めた後、市外へ出て行ってしまふ。
- ・ 富良野は家賃が高いことや若者自体がどんどん少なくなっている中で、よその若者が多いところへ行きたくなるのではないかと思う。

(事務局)

- ・ 若い人材の市外への流出について、市としても危機感を持っている。今回の地元就職促進事業は、事業者側が自社のアピールできるものを考え、若者との共同事業を企画し、地元の若い人材を育成・確保するために積極的に手上げしてもらいたい意図があり、学生と企業を結びつけるきっかけ作りを後押しする事業と捉えている。

(平沢会長)

- ・ 事業者も積極的に PR する必要がある。若い人の呼び水となるような事業にしてもらいたい。

(市村委員)

- ・ インターンシップをきっかけに学生の意見を積極的に取り入れて、事業者側ももう一步踏み出す必要がある。今は若者も市内に興味を引くものがないので市外に出て見ようと、事業者側も学生の興味をひくにはどうしたらいいのかお互い迷っ

ている状態である。この両者を引き寄せる仕組みが求められている。

(浅利委員)

- ・ 学校の先生方にも富良野市内の企業を知ってもらうことが必要である。市内には魅力的な企業がたくさんあるので、今回の補助事業でワークショップ等を開催し、先生と生徒へ知ってもらう機会が作れるとよい。

(平沢会長)

- ・ 続いて、富良野市中小企業振興総合補助金制度改正（案）について、質疑等あるか？（なしという声あり）
- ・ それでは本件について、市の諮問内容を妥当とする旨の答申方向でよろしいか？（賛同する声あり）
- ・ 本件について、別紙の案のとおり答申する。
- ・ 以上をもって、諮問された審議内容については結審とする。

## 5. その他

特になし

## 6. 閉会（午後 3 時 50 分終了）